

第5回日本薬学教育学会大会 ワークショップ開催趣旨書

タイトル	薬剤師・薬学生のためのメンタルヘルス・ファーストエイド（MHFA）短時間プログラム ～メンタルヘルスの問題を抱える人に対する早期支援～
オーガナイザー	1. 東京薬科大学薬学部 教授 齋藤百枝美 2. 帝京大学薬学部 教授 岸本成史 講師：九州大学病院精神科神経科 講師 加藤隆弘
概要	<p>現在、地域医療における薬剤師業務は対物から対人へとその役割は大きく変わることが求められている。このため、教育現場においても社会問題となっている「自殺」の予防や「うつ病などの精神疾患患者」への対応・支援ができる薬剤師の育成が必要と考え、本ワークショップを立案した。メンタルヘルス・ファーストエイド（MHFA）は、「うつ病」「パニック障害などの不安の問題」「統合失調症などの精神病」「アルコールや薬物依存の問題」の4つの心の問題について、基本的な知識とともに専門家へつなぐための具体的な初期対応法を学ぶ12時間の研修プログラムである。MHFAはすでにオーストラリアでは薬学教育に必須科目として導入されている。本ワークショップでは、うつ病、自殺予防、過量服薬に関する短時間のMHFAプログラムを実施し、今後の教育プログラム導入のためのモデルを提唱する。</p> <p>この教育プログラムにより、薬剤師や薬学生の精神保健のリテラシーが向上し、さらに身近な人の精神的不調や心の危機的状態に対応できるスキルを習得し、その過程で偏見が除去されることは、今後の精神医療の課題を解決しうる何よりも重要な取組の一つであるといえる。</p>